

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【公開番号】特開2009-198613(P2009-198613A)

【公開日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-035

【出願番号】特願2008-38019(P2008-38019)

【国際特許分類】

G 03 B 17/02 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 03 B 17/55 (2006.01)

G 03 B 5/00 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 17/02

H 04 N 5/225 E

G 03 B 17/55

G 03 B 5/00 L

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月31日(2011.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影レンズの光軸上に該光軸と直交するように配設されて前記撮影レンズによる被写体像が結像される撮像素子と、

該撮像素子の背面に固着された放熱板と、

前記撮像素子を保持する撮像素子ホルダと、

前記光軸に直交する2次元方向に移動可能に前記撮像素子ホルダを支持する支持部を有する固定部材と、

前記撮像素子ホルダを前記光軸に直交する2次元方向に変位移動させる像ブレ補正用駆動機構と、

当該撮像装置のブレを検出するブレ検出手段と、

該ブレ検出手段によるブレ検出結果に応じて像ブレを補正するよう前記像ブレ補正用駆動機構を動作させる像ブレ制御手段と、

前記撮像素子の温度を検出する温度検出手段と、

当該撮像装置の外装部または熱拡散板と熱結合させて前記固定部材上に設けられ、前記撮像素子ホルダが所定位置に位置する状態で前記放熱板の一部が係脱可能に熱結合するクリップ伝導部材と、

前記温度検出手段により検出された温度が所定温度以上の場合に前記撮像素子ホルダが所定位置に位置するよう前記像ブレ補正用駆動機構を動作させる放熱制御手段と、

を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記所定位置は、電源オン動作時における撮像素子ホルダの初期位置であることを特徴

とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記撮影レンズと前記撮像素子の間の前記光軸上に配設されたローパスフィルタと、
前記撮像素子と前記ローパスフィルタとを密封する密封部材とを備えることを特徴とする
請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記クリップ伝導部材と前記放熱板は、前記撮像素子ホルダが所定位置に位置する状態
で係脱可能にロックするロック機構を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一
つに記載の撮像装置。